

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算状況

市町村名	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	実績	税導入の効果
		うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）				
豊浦町	豊浦町森林意向調査準備事業	7,459	1,462	5,997	0	森林経営管理法に基づく意向調査を実施するための事前準備として、デジタル地番図の作成、林地台帳の精緻化等の作業を森林組合に委託実施した。	森林GIS導入、林地台帳精緻化委託	譲与税の活用により、本町の新たな森林整備を効果的に進めるための森林GISを導入することができ、未整備人工林の林況把握や森林家営計画に基づいた森林の効果的な整備が可能となった。
豊浦町	豊浦町公共施設木質化事業	7,744	7,744		0	町内の公園施設をはじめとする各種公共施設について、建設後年数の立っているものは手すり等の木部が老朽化しており取替の必要があるため、地域材を活用した補修を実施した。	町内公共施設の手すり、木柵、遊具、建物の木製部分を地域材を使用して改修。	公園施設の木製遊具や手すり、温泉施設のバルコニーなどが経年劣化していたことから、譲与税を活用し地域材を導入して補修することにより材を有効に活用できたほか、使用した施設に本事業の活用を明記したことで、広く地域材利用促進のPRを図ることができた。
豊浦町	林業用公用車購入事業	2,550	2,065		485	町有林施業地の現地確認や林地現況調査に使用するため、悪条件の作業道を走破することが可能な公用車1台を導入した。	林業用公用車（660cc）1台の導入	本町の森林整備施行地は丘陵地帯にあり、これまで現地検査や実地調査の際に、これら施行地付近の作業道、林道を走破できる用途の公用車がないことで業務に不便が生じていたため、譲与税を活用し、あらたに林道、作業道を走破できる用途の公用車を導入したことで、林況の把握が容易になるほか、造林検査や調査にかかる労力と時間が短縮できた。
豊浦町	豊浦町公費造林推進事業	1,443	1,443		0	町が行う単独事業である公費造林推進事業について、下刈り78件、360.78haを実施した町補助金について、森林環境譲与税を充当した。	豊浦町公費造林推進事業（1,444千円） 下刈り 78件 360.78ha	町単独事業である豊浦町公費造林推進事業について、令和2年度の対象者78件、施業面積360.78ha補助事業費1,443千円を譲与税充当することにより、本町の森林整備に活用することができた。
豊浦町	北海道林業・木材産業人材支援協議会支援	30	30		0	北海道立北の森づくり専門学院への支援（協議会負担金30千円）	北海道林業・木材産業人材支援協議会負担金（年額30千円）	北海道立北の森づくり専門学院への支援（協議会負担金30千円）